

漢方
小児科 婦人科
内科 産科
浮田医院
だより



第 89 号
医療法人 せいらぎ会
発行所：浮田医院
〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28
TEL 0740-32-3751
FAX 0740-32-3795
ホームページ: <http://www.ukita.gr.jp>
e-mail: kanpou@ukita.gr.jp
発行日：2010年 8月 5日(木)
発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ(89)

めまいー



暑い日、涼しい日、雨の日、梅雨真最中のこの頃です。草花の成長はこの雨で加速されます。朝顔、ひまわり、百日紅、夏椿(日本では沙羅双樹と呼ばれる) (東林院等の花が咲き始めています。また、今年もいろいろな場所で見事なアジサイが人々の眼を癒してくれます。

当院は七月十七日で二〇周年を迎えました。二〇年と言う歳月は長い時間ですが、あつと言う間の出来事にも感じられます。当院でお産された方が、お子様をお産される時、随分長い間働いてきたんだなあとしみじみ感じます。職員の中には、医院設立当初からずっと勤務している方もおられます。止められた方、新しく勤務し始めた方もおられます。医院も、待合、玄関、病室、受付、中庭など随分変わりました。久しぶりに来院された方はさぞ驚かれることでしょう。当院を支えてくれる医師もた

くさんおられました。現在も多くの医師に支えられています。二〇周年に当たって様々なことが蘇り、回想されます。これからの地域を支えていくために、さまざまな工夫をしながら皆に支えられ、皆を支えていければと思います。いっばいです。

めまいのお話です。



芦刈園(あじさい)

せせらぎ四一、五二、六一、六八、七四、八二号も参考にして下さい。めまいは、睡眠不足や疲労でしばしば発症します。頭の位置の変化(首を回すなど)が原因の場合、良性発作性頭位めまいと言います。高めの枕の使用、横臥位での読書やテレビ禁止が必要で、耳鳴りや難聴を伴うめまいは、メニエール病や突発性難聴や真珠腫性中耳炎が、激しい回転性めまいが数時間以上続くと耳の症状がなければ、前庭神経炎が考えられ、耳鼻科的診察や診断が必要になります。脳梗塞の場合にも、めまいや歩行障害を伴うことがあり、脳外科的診察や診断を要することもあります。若い女性や降圧剤服用の高齢者では、起立性障害(低血圧)のこともあります。また、長時間のデスクワークや運転後のめまい(しばしば頭痛を伴う)は、緊張性頭痛のことが多いようです。緊急手術や抗生物質が不要な急性のめまいや長期間にわたる続く慢性のめまいには、漢方薬が有効な場合があります。漢方薬を使用する場合、小陽病期(口乾、喉乾、目眩)のめまい、水毒(内耳リンパ浮腫)のめまい、高血圧随伴症状としてのめまいなどに分類します。小陽





病には、小柴胡湯（合香蘇散）、加味逍遙散、半夏厚朴湯など、水毒には、苓桂朮甘湯、五苓散、真武湯、沢瀉湯など、高血圧随伴症状には、黄連解毒湯、三黄瀉心湯、釣藤散、七物降下湯、八味地黄丸等を使用します。実例に移ります。

二十九歳女性、アレルギー性鼻炎（鼻水、鼻づまり、クシャミ）、食欲良好、便秘（三日に一回）。顔色は良好、少しむくみがある、腹は柔かく、胸脇苦満、臍上悸、臍傍抵抗痛、舌は淡紅色、乾薄白苔、舌下静脈怒脹、脈は浮、数、滑、緊。そこで、小青竜湯、修治附子末、大黃を処方。当日より、症状改善。二ヶ月服用後、補中益氣湯、当歸芍薬散、修治附子、大黃に変更。一年服用。今年のアレルギー症状はほとんどなくなつた。現在も服薬中。三十二歳女性、リウマチ、一〇数年前より、手や手首や肘などの関節の腫脹、こわばり、痛み、熱感が始まり、抗炎症剤、副腎皮質ステロイド剤、抗リウマチ薬などで治療したが、次第に変形してきた。食欲良好、便通良好（二日一回）。顔色不良、脈浮滑数、舌淡紅色、乾薄白苔、舌下静脈怒脹。上下腹部の弾力性は少なく、胸脇苦満、胃内停水、臍上下悸（十）。そこで、補中益氣湯加牡丹皮、桃仁（二日一回）、

桂枝加越婢湯（二日一回）を処方。二ヶ月後より手指、手首、肘などの痛みや腫脹が減り始めた。二年後、抗リウマチ薬と抗炎症剤と漢方薬で経過良好。三年後、抗リウマチ薬や抗炎症剤の量は半分に減量。漢方薬と併用している。

五十二歳男性、蕁麻疹、三ヶ月前より全身（手足、腹、背中など）に紅斑、膨隆疹（浮腫状に盛り上がった丘疹）が出現、抗アレルギー剤、抗ヒスタミン剤、ステロイド外用薬などの治療を受けたが改善なし、食欲良好、便三日に一回、口渴（十）。顔色良好、腹力中程度、胸脇苦満（軽度）、心下痞硬、両側臍傍抵抗痛（十）、脈は浮緊数。舌は、紅色、薄乾黃色。そこで、白虎加人参湯（昼）、茵陳蒿湯加蒼朮、猪苓、沢瀉（朝夕）を処方。一週間後、蕁麻疹半減。三ヶ月後ほぼ消失、同処方を半量一ヶ月継続して廃薬。

夏まけ、三六歳女性、全身倦怠感、食欲不振、眼精疲労、手足のほてりを訴えて来院。顔は青黒く、腹は軟、右胸脇苦満、胃内停水、脈は浮大数。舌は淡紅色、乾黃色苔。そこで、補中益氣湯、二物黄芩湯を処方。一週間で諸症状改善。三ヶ月服用して廃薬。

次回は、老人と漢方 ーです。

〔院長〕



アレルギー性鼻炎

1～5月頃、8～10月頃の季節に発症する人（季節性）と年中症状のある人（通年性）がられます。花粉、ほこり、動物の毛、気温、感情の変化が影響します。鼻水、鼻づまり、クシャミの激しい時の漢方薬（発作用）と体質改善の漢方薬があります。また、血液でアレルギー検査（花粉、動物の毛、食べ物など）もできます。



慢性関節リウマチ

東洋医学では、漢方薬、鍼、灸、食養、生活指導を重視します。湿（湿気）、寒（冷え）、気虚（気力の低下）、瘀血（微小血液循環障害）を調整して、局所（関節）と共に体全体を調えようとしています。適当な運動（リハビリテーション）、休養、息抜き、食養、睡眠が大切です。でも、痛いときには、鎮痛剤などを併用して下さい。一緒にがんばりましょう。



蕁麻疹

食物、薬剤、日光、寒冷、刺激（雑草、虫、髪の毛）、発汗、圧迫、感染（慢性扁桃腺炎、胃潰瘍（ヘリコバクターピロリ）などの原因対策をすべきです。抗ヒスタミン剤、抗アレルギー剤、副腎皮質ホルモンだけでなく、漢方薬も利用してください。過労やストレスも原因のひとつです。



当院の漢方治療



剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤**タイフ**の漢方薬と顆粒**タイフ**の漢方薬があります。
 - ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。40～60分煮て作ります。
- 当院の顆粒**タイフ**の漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫(冷凍庫)で保管して下さい。
- 漢方薬が固まりやすい場合、当院の漢方薬専用容器(無料)をご利用下さい。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。

・漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性痔炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流早産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・

・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤(顆粒あるいは錠剤)を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、膣分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

骨量測定(4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

予約ー漢方外来

土曜日の午後、予約-漢方外来があります(予約制、2回/月)。
午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時
3時～3時20分、3時20分～3時40分。
日程は掲示板やホームページでご確認ください。(電話予約可)

アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。

- ・紫雲膏・太乙膏・アガリクス・メシマコブ
- ・靈芝・AHCC・サメ軟骨・快歩楽

漢方入浴剤

- ・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
- ・昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
- ・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、早急に受付に連絡して下さい。

在宅療養の支援とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、計画的に診療と治療を行います。往診と違い、定期的に(月に2～12回)訪問診療を行い、患者さんの健康を管理します。

在宅療養の支援についてお気軽にご相談下さい。

スーパーライザー(神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス・・・などの治療に利用しています。

予防接種 ワクチン接種

インフルエンザ(季節型、新型)、三種混合(DPT)、BCG、麻しん・風しん(MR)、日本脳炎、水ぼうそう、おたふくかぜ、Hib(インフルエンザ菌b型)、子宮頸癌予防ワクチン肺炎球菌ワクチン(小児用 プレペナー)(高齢者)

従業員募集

看護師、助産師(常勤、パート)。面接：随時
各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○	○	○	○	○	○	—
正午～午後0時30分	—	—	産後健診(予約可)	—	産後健診(予約可)	—	—
午後2:00～午後3:30	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	予約-漢方外来 (月2回)	—
午後2:00～午後4:00	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	—	—
午後5:30～午後7:30	○	—	○	—	○	—	—

◇漢方外来 (月～土): 内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。

◇予約-漢方外来(2回/月 土曜日): 午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時、3時～3時20分、3時20分～3時40分。電話予約可(日程はホームページ、掲示板参照)

◇更年期外来(月～土): 更年期の方、思春期の方(女性、男性 どなたでもお越し下さい)

◇不妊 外来(月～土): 赤ちゃんの欲しい方 (ご夫婦でもお越しになれます)

◇妊婦 外来(月～土): 妊婦健診、妊娠中の方

◇産後 健診(水、金曜日)(有料): 正午～午後0時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月) 産後健診

◇母乳 相談(月～金曜日)(有料): 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 乳房マッサージ 電話予約可

前期と中期-母親教室

前中期母親教室
8月7日・9月4日の各土曜日

後期-母親教室

後期母親学級
7月24日(水)・8月4日(水)
8月18日(水)・8月28日(土)

マタニティヨガ講習のお知らせ

当院では専属の外部インストラクターによるマタニティヨガを実施しており、「妊産婦本位の出産・私らしい出産・自然なお産」をコンセプトにやさしい講師の方と楽しくソフトで無理のないプログラムで(90分)お腹のベビーとママさんお二人の時間を過ごして頂いております。実際にご参加頂いたママからは「参加して良かった・身体が温まった・気持ち良かった・スッキリした・赤ちゃんが機嫌よく動き始めた」などなど多くの感想を頂いております。現在専属講師がお産のため産休を頂いておりますが8月より同じコンセプトの講師の方に代理でお越し頂く予定としておりますので開催日などで質問ございましたら当院受付までお問い合わせください。

吉益南涯(1750～1813)(江戸中期)

吉益東洞の長子で寛延3年(1750年)京都で生まれ、父東洞の行きすぎた「万病一毒説」を敷衍し、更に受け継いだ治療法の不備を補いながら、「気血水」学説を主張したが、父東洞の「実地に即した医業、経験医療の確立に努めた。門人に華岡青洲、賀川玄悦、中川修亭らがいる。南涯の外出はただ往診の時のみで、歓楽街に足を向けることはなく、家でも、門人への講義が古書を読むのみと言われた。著書は「気血水弁」「気血水薬徴」「観證弁疑」「方庸」「成蹟録」「続建殊録」「陰症百問」がある。



分娩予約

妊娠20週までに受付で予約して下さい。ご予約には、**分娩予約カード**が必要です。予約された方には、**母と子のびき**、**入院誓約書**、**直接支払い制度合意書**をお渡します。

4D外来(助産師)

助産師が4Dを実施します(およそ30分)。お腹の赤ちゃんの様子が映し出されます。ご希望の方は予約してください。
火曜日と木曜日(掲示をご覧ください)

パソコンホームページ(<http://www.ukita.gr.jp>)

トップページ(お知らせの欄、診療日程カレンダー)
産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)
漢方治療のページ(外来、漢方治療の範囲)
老人医療のページ(在宅療養の支援)
健康のページ(健診、ブライダルチェック、予防接種)
当院の施設案内、当院への交通(車、JR)

産後相談 母乳相談(助産師)

産後相談と母乳相談(有料)(乳房マッサージ)をしています。
午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分。
日程は掲示板やホームページでお確かめください。(電話予約可)

正常分娩の入院日数

正常分娩の場合入院日を含めて入院期間は6日間です。
初産婦の方、経産婦の方も同じ入院日数です。
分娩希望の方はすべて受け付けています。

里帰り出産を予定されている方へ

当院は里帰り出産を受け付けています。妊娠24週ころ(母体と赤ちゃんの状態をチェックします)に1度診察においでください。当院での妊婦健診は妊娠34週から受けてください。

赤ちゃん健診

産後健診と1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
日時:毎週水、金曜日 正午～午後0時30分(有料)

入院食(手作り)

心のごもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー…など、絶えず工夫し研究しています。

産科医療補償制度

分娩により重度の脳性麻痺となった児及びその家族の経済的負担を補償し、原因分析と再発防止策を講ずるための制度。当院で通院方に、登録証を発行しています(妊娠16～22週)。
詳細は受付でお聞きください。